



前沢区

自分でついた餅は格別の味

牛の博物館で絵本の読み聞かせと餅つき



昔ながらの臼ときねで餅つき体験をする参加者

「絵本の読み聞かせと餅つき」が12月8日、牛の博物館で開かれ、親子連れなど約40人が読み聞かせを楽しみ、つきたての餅を堪能しました。読み聞かせでは前沢区のサークル・おはなしひろば（吉田あや子代表）が熱演。子どもたちは、来年の干支のへびを題材とした物語にひき込まれていました。その後、同館職員やボランティア、子どもたちにより、地元産のもち米3升を昔ながらの臼ときねでつき上げました。つきたての餅は、きな粉餅にして参加者へ振る舞われました。親子で参加した菊地理暉君（佐倉河小2年）は「餅つきは見たことがあるけど、自分でつくのは初めて。楽しい」と、勢いよくきねを振り下ろしました。

加工実習で学ぶ米粉の特性

米粉菓子研修会

県南広域振興局農政部などが主催する「米粉菓子研修会」が12月6日、水沢地区センターを会場に開催されました。産直で加工品販売に取り組む女性生産者などが参加し、市内産の米粉を使ったケーキの調理法などを学びました。

県産米粉の製パン・製菓の特性についての講義の後、てらまさ武山照愿さんを講師に加工実習が行われました。参加者は、講師の手元を食い入るように覗き込み、技術を学んでいました。

武山さんの説明を熱心に聞く参加者



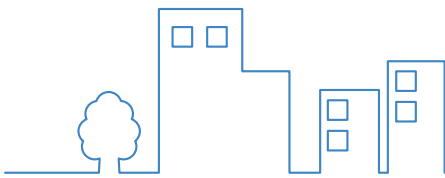
リンゴを品定めし、袋に詰める来場者

江刺区

リンゴの詰め放題が大人気

第3回江刺りんごまつり

江刺りんごまつり（岩手江刺農協、同農協りんご部会主催）が12月1日、2日の両日、歴史公園えさし藤原の郷駐車で開催され、多くの来場者でにぎわいました。傷や形、色むらなどで正規品販売ができない「訳ありリンゴ」の詰め放題では、生産者が搬入するたびに人だかりができ、来場者はリンゴを見定めながら袋に詰めていました。併せて、第10回江刺りんご皮むき大会も行われ、北風の吹く中、皮を少しでも長くむこうと参加者は真剣な表情で取り組んでいました。



笑顔で演技を披露する受講生



胆沢区

心込めた演技で観客を魅了

ジュニアミュージカルスクールが公演

第12回いさわジュニアミュージカルスクール公演（NPO法人胆沢文化会館自主事業協会主催）が12月9日、胆沢文化創造センターを会場に行われました。同スクールでは、市内外の小学生から高校生が、劇団ゆう（滝沢村）の指導を受け、5月からけいこを重ねてきました。この日、小学4年生以下が「ナナリンとすてきな仲間たち」、小学5年生から高校生が「お山と鬼の子」を披露。華やかな踊りを織り交ぜた子どもたちの演技に、観客から大きな拍手が送られていました。

水沢区

不思議な科学の原理に歓声

クリスマスマジックショー

クリスマスマジックショーが12月23日、宇宙遊学館（河野宣之館長）を会場に開催されました。

このイベントは、子どもたちに科学の楽しさを知ってもらおうとクリスマスに合わせて企画されたもので、市内の園児や小学生とその保護者など約80人が参加。同館でサイエンスコンダクターを務める小田部功さん（80）が科学的な仕組みを説明しながら多彩なマジックを披露しました。次々と繰り出すマジックに、子どもたちは驚きながら歓声を上げていました。

小田部さんのマジックを食い入るように見つめる子どもたち



衣川区

踊り継がれる南部神楽とは

南部神楽シンポジウム in 南股 2012

南部神楽シンポジウム in 南股 2012（南股地区会主催）が12月2日、南股地区センターを会場に行われました。第1回の昨年はせりふのない「式舞と神舞」を取り上げましたが、ことしは芝居調でせりふのある「劇舞」を4団体が披露。熱の入った舞に、集まった神楽ファンは魅了されました。引き続き、歴史研究者や地元・川内神楽と一関・達古袋神楽の伝承者をパネラーに迎え、パネルディスカッションを実施。実践に基づく神楽の魅力などについて語っていました。



パネルディスカッションで伝承した経緯や意見を述べるパネラー



苗木の植樹を行う小沢昌記市長と関係者

前沢区

桜の名所を後世に残すため

お物見公園の桜樹木再生プロジェクト

前沢商工会青年部（千田友明部長）は12月2日、前沢区のお物見公園において植樹式を行いました。同事業は、「お物見公園の桜樹木再生プロジェクト」の一環として行われたもので、市民や関係者など約40人が出席。植樹式では同区ゆかりの6団体・個人がソメイヨシノの苗木に丁寧に土をかけ、記念の看板を設置しました。その後、桜の名所として知られる同公園の桜を孫子の代まで残そうという強い思いを胸に、同部員が桜の木の剪定や施肥作業を行いました。